

“意見は承ります”

「株運動でチツソ専務語る

株主としてなら歓迎

会場変更、総会屋考えぬ

水保町をめぐり、「株運動」の攻撃目標となっているチツソ(本社東京、資本金七十八億一千三百九十六万円、江崎野村が十一日、注目の九月期決算を公表した。席上、入江専務は、「株主として出席する限り大いに歓迎する。正務な質問や意見があれば承り、よいチャンスなのでトクと説明したい。しかし、株主総会に出席する層が反体制運動とか政治的なことだったら違った方法をとらざるを得ない」と警策力の導入もありうることを示唆した。

政治的意図には別の方法も

また、株主総会の当日、会場を急に変えたり、「株運動」を討じするために総会屋を雇うようなことはしない考えを明らかにした。

名義書き換えは前期中間に千件、数百人から千人程度の出席が予想程度なのに、九月期中には約一万件に達した。

これは、「株運動」グループの同社の九月期の業績は前上期より一億二千六百万円、税引き

益は六千四百四十二万円、三月期は四十七年度に復元したい意向

同社の九月期末の株主数は五万一千人強と三月期末の四万五千八百六十四人を五千人以上も上回り

十八日午前十一時から大阪市の厚生年金会館で開く株主総会には、

比ベ一・八割増取、九・七割増

は四十七年度に復元したい意向

だ。
水保町層に対する救済策として同社は、四十六年に年間合わせ千一百万円程度の年金を支出して

いる。九月期は水保町層特別費一六千万円など計一億八千万円を期で支出したという。農会のあつせんによる一時金一億一中に営業外費用、工事コストとし